

会社と真面目な社員を守るための

問題社員・ローパーフォーマーへの対処法と

労務管理のポイントセミナー

労働トラブルが増加している時代ですが、リーマンショック以降本格的な労働トラブル多発時代に突入したと実感しています。特に最近では社員の帰属意識の低下やいわゆる非正規社員の増加、ネットで情報武装をした社員の法的意識の高まりなどにより、従来では考えられなかった問題行動を取る社員が急増しています。また能力や協調性が不足し、会社に対して反抗的な態度を示すローパーフォーマー社員の問題も深刻化しており、そうした社員への対応に苦慮されている経営者や人事労務担当者も多いのではないのでしょうか。

そこで本セミナーでは、最近の問題社員・ローパーフォーマーの傾向を具体的事例を元に解説するとともに、会社秩序を維持し、活力ある職場を作るための労務管理上のポイントについて解説いたします。

1. 近年増加している労働トラブルの傾向と対策

- ① 協調性が無く自分勝手な言動で組織秩序を乱す社員
- ② 能力が不足しており、いくら指導しても一向に改善しない社員
- ③ 勤務怠惰でやる気が無い社員
- ④ セクハラやパワハラを行う社員
- ⑤ 同僚を仲間はずれにしたり、いじめを行う社員
- ⑥ メンタルヘルス不全などにより、欠勤や業務効率の低下が続く社員
- ⑦ 配置転換を拒否する社員
- ⑧ 残業代目当てでだらだら残業を行う社員
- ⑨ 退職後に時間外手当の不払い等を要求してくる社員
- ⑩ 退職時に顧客リストなどの営業秘密を持ち出す社員

2. 無用なトラブルを防止するための具体的ポイント

- ① 労働トラブル発生リスクを下げる社員採用時の実務ポイント
- ② 懲戒処分を行う際のステップ別ポイント
- ③ 降格・降職を行う際の注意点
- ④ 退職勧奨・普通解雇・懲戒解雇の際の注意点

開催日

平成24年2月1日(水)

時間

13:30~16:45

会場

横浜商工会議所 8階 805会議室

対象者

経営者・担当役員

経営者向けの内容となっております。対象者以外のご参加はご遠慮願います。

受講料

5,000円

定員

40名

企業は人なりと言います。人は企業にとって掛け替えの無い財産です。企業は理念の下で社員に役割を与え、社員はそれに応え、対価として賃金を受け取ります。ところが最近では自己の役割に応えずに、あるいは組織の一員であることの自覚の無い行動を繰り返すものが増えてきています。

『思うに、企業は、その存立を維持し目的たる事業の円滑な運営を図るため、それを構成する人的要素及びその所有し管理する物的施設の両者を総合し合理的・合目的に配備組織して企業秩序を定立し、この企業秩序のもとにその活動を行うもの』としたのは、職場の服務規律の重要性と、それに従うことの有効性を示した有名な判例の一文です（国鉄札幌運転手事件・最三小昭54.10.30）。

本セミナーでは、企業が求める役割に応えず、組織の一員であることの自覚の無い問題社員や、職務適正が不足するローパーフォーマーの実例を上げながら、実務での対応策について考えていく機会にしたいと思います。



講師:

荒木 康之(秀) 社会保険労務士

株式会社ヒューマンリソースみらい 代表取締役 社会保険労務士事務所みらい 代表

小売業と外食業の経営に長くたずさわる。自社の経営やコンサルティング会社での勤務などの豊富な経験を踏まえて、賃金制度の構築や労務問題を中心に、経営のあらゆる相談に応じる。経営者の目線で本音のアドバイスを提供し厚い信頼を得ている。

お問い合わせ先



株式会社ヒューマンリソースみらい 社会保険労務士事務所みらい

〒231-0014 横浜市中区常盤町2-20-405 TEL:045-650-4166 HP:www.hr-mirai.com

お預かりした個人情報は、参加確認書の発送や当社サービスのご案内に限らせていただきます。

お申し込みFAX 045-650-4199

本セミナーは企業経営者向けのセミナーです
社会保険労務士やコンサルタントの方のお申し込みはご遠慮いただいておりますのでご了承願います

御社名			
住所	〒		
電話番号		FAX番号	
お名前①		役職名	
お名前②		役職名	

お申し込み頂いた方に参加確認書をお届けいたします